



島の産物を生かして

「日間賀島を愛し、島の将来の担い手となる人材を育てたい。」

そんな地域の願いを受けて、日間賀小ではPTA役員や学年委員の協力のもと、低学年の「島アサリの潮干狩り」や高学年の「魚のさばき方教室」など、少しでも「島らしい」活動をしようと奮闘中だ。

中でも、夏の盛りに開催される「海に親しむ会」は、まさに島ならではの活動。子どもたちは「タコのつかみ取り大会」や「砂の造形コンテスト」など、「浜と海の運動会」を存分に楽しむよ。地域の人たちもたくさん訪れて、競技の準備に協力してくれるんだ。

PTAは毎年、この日の昼食に島の特産であるタコをたっぷり使ったカレーをふるまっているよ。前日から50人以上で準備するPTAの一大イベントなんだ。

「疲れたあ、おなかへこぺこ。」

「はい、たくさん食べてね。」

愛情たっぷりのカレーは、競技をがんばった子どもたちへのいちばんのご褒美。浜に座って味わう子どもたちからは、「おいしい!」という声がたくさん聞こえてきたよ。おなかいっぱい食べて、午後の競技もがんばろうね。

海や島の産物、そして地域の人たちとふれ合うことで、子どもたちの胸には、「島を愛する心」が育っていくよ。



PTA最大の活動「タコカレー」。毎年、約200人分をふるまっている。

タコカレー、おいしそう! 食べてみたいな。

タコは日間賀島のシンボル。タコ串も一緒に作っているんだ。



4年生の「タコの干物作り」。秘伝のタレをつけて、学校の屋上に干す。



3年生の「天草取り」。磯で、学年委員や祖父母に教わりながら行う。



DATA 所在地 ● 知多郡南知多町日間賀島、永峯11 児童数 ● 111人 周辺環境 ● 日間賀島は知多半島先端東側に位置する周囲5kmほどの島で、三河湾国立公園でもある。漁業や旅館業などが盛ん。地域の人々は学校に対して大変協力的で、多くの大人が温かく子どもを見守っている。